

HP OpenView Performance Insight

Interface Discovery Datapipe バージョン 2.0

リリースノート



i n v e n t

ご注意

1. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
2. 当社は、本書に関して特定目的の市場性と適合性に対する保証を含む一切の保証をいたしかねます。
3. 当社は、本書の記載事項の誤り、またはマテリアルの提供、性能、使用により発生した直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害または結果損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 本製品パッケージとして提供した本書、CD-ROM などの媒体は本製品用だけにお使いください。プログラムをコピーする場合はバックアップ用だけにしてください。プログラムをそのままの形で、あるいは変更を加えて第三者に販売することは固く禁じられています。

本書には著作権によって保護される内容が含まれています。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。

All rights are reserved.

Restricted Rights Legend

Use, duplication or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.227-7013 for DOD agencies, and subparagraphs (c)(1) and (c)(2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights clause at FAR 52.227-19 for other agencies.

Hewlett-Packard Company
United States of America

Rights for non-DOD U.S. Government Departments and Agencies are as set forth in FAR 52.227-19(c)(1,2).

Copyright Notices

© Copyright 2002-2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P., all rights reserved.

No part of this document may be copied, reproduced, or translated into another language without the prior written consent of Hewlett-Packard Company. The information contained in this material is subject to change without notice.

商標

OpenView は、Hewlett-Packard Company の米国の登録商標です。Microsoft®、Windows®、および Windows NT®は、米国 Microsoft Corporation の米国における登録商標です。UNIX®は、The Open Group の登録商標です。その他の製品名は、それぞれの商標またはサービスマーク所有者の財産であり、これによって承認されています。

目次

範囲	4
関連ドキュメント	4
パッケージの概要	5
使用上の注意	5
パッケージの履歴	5
このリリースでの機能強化	6
機能強化	6
バグ修正	6
既知の問題	7
インストールと設定	8
コア製品の前提条件	8
テクニカルサポート	9

範囲

このリリースノートでは、パッケージの構造、最新の機能強化、バグ修正、および既知の問題について説明しています。インストール、設定、および準備については説明していません。これらのトピックについては、『*Interface Discovery Datapipe 2.0 ユーザーガイド*』を参照してください。

関連ドキュメント

このリリースノートに関連するドキュメントには次のものがあります。

- 『Interface Discovery Datapipe 2.0 ユーザーガイド』
- 『Interface Reporting ifEntry Datapipe ユーザーガイド』
- 『Interface Reporting ifEntry Datapipe 2.0 リリースノート』
- 『Interface Reporting Report Pack ユーザーガイド』
- 『Report Pack for Interface Reporting 4.0 Release Statement』

パッケージの概要

Interface Discovery Datapipe は、SNMP の管理対象デバイス上のインタフェースのデータを検出および管理するのに使用します。OVPI データベースにある各インタフェースの設定に関するデータを管理し、他のデータパイプやレポートパックでそれらのデータを使用できるようにします。Interface Discovery Datapipe は、Reporting and Network Solutions 5.0 CD の一部として、次のものと一緒に使用できます。

- Cisco Ping Report Pack
- Interface Reporting ifEntry Datapipe および Interface Reporting Report Pack
- Frame Relay CPE Datapipe および Frame Relay Report Pack
- MPLS VPN Report Pack
- Netflow Interface Datapipe および Report Pack

Interface Discovery Datapipe では次がサポートされています。

- SNMP MIB-2 をサポートしているすべてのデバイス上のインタフェースの検出
- 再インデックス化
再インデックス化後のデータの継続性をサポートするため、ifIndex の代わりに ifDescr、ifName、または ifAlias を使用してインタフェースを識別することができます。
- 「ログの再インデックス」レポート

使用上の注意

『Interface Discovery Datapipe 2.0 ユーザーガイド』を参照してください。

パッケージの履歴

バージョン	変更の概要
2.0	OVPI 5.0 向けの変更、および Oracle と Sybase をサポートするための変更。BCPG ファイルを SQL ストアドプロシージャに置換。
1.1	BCPG ファイル名を訂正し、BCPG の更新の効率を強化。再インデックス化ロガーを、トリガーから、raw-to-rate プロシージャにより呼び出されるストアドプロシージャに変換。
1.0	初回リリース

このリリースでの機能強化

機能強化

- OVPI 5.0 向けの変更、および Oracle と Sybase をサポートするための変更。
- BCPG ファイルを SQL ストアドプロシージャに置換。これにより、BCPG ファイルを手動でリモートポーターに配布する必要がなくなったため、配布が簡素化されました。

バグ修正

バージョン番号	バグ番号	説明
2.0	N/A	N/A

既知の問題

このリリースでは既知の問題はありません。

インストールと設定

『*Interface Discovery Datapipe 2.0 ユーザーガイド*』では、インストールと設定の手順について説明しています。

コア製品の前提条件

Interface Discovery Datapipe 2.0 をインストールする前に、先に以下をインストールしてください。

- OVPI 5.0
- OVPI 5.0 に提供されているすべてのサービスパック

注記: サービスパックは HP OpenView のサイト(<http://openview.hp.com/>)から入手できます。

テクニカルサポート

次の HP OpenView の Web サイトを参照してください。

<http://openview.hp.com/> (英語)

<http://www.hp.com/jp/openview/> (日本語)

このサイトには、HP の提供する製品、サービス、サポートについてのお問い合わせ先や詳細が掲載されています。[サポート]をクリックすると HP OpenView のサポートページに移動します。このページから次の情報を参照できます。

- ダウンロード可能なマニュアル
- トラブルシューティング
- ソフトウェアパッチ
- 問題報告
- トレーニング
- サポートニュース